

子どもの予防接種スケジュール（定期・任意）

尼崎市

平成30年1月現在

- ・ 予防接種の一般的なスケジュールです。具体的な接種のスケジュールはかかりつけの先生に相談し、体調のいいときに接種しましょう。
- ・ 尼崎市では予防接種は市内予防接種実施医療機関での個別接種になります。
- ・ 定期接種は無料、任意接種は原則有料になります。
- ・ 接種間隔の起算日は、接種した日の翌日から。「 歳未満」、「 歳に達するまで」、「 歳に至るまで」はいずれも「 歳の誕生日の前日まで」となっています。

予防接種名				年 齢		出生	生後6週	2か月	3か月	4か月	5か月	6-8か月	9-11か月	1歳	1歳5か月	1歳8か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳
定期予防接種（A類疾病）	予防接種法	B型肝炎		不活化	： 2 7 日以上の間隔で 2 回接種。 ： から 1 3 9 日以上の間隔で 1 回接種。 予防接種法では、平成 2 8 年 4 月 1 日以降に生まれた、 1 歳に至るまでの間にある者が対象。																														
		Hib感染症		不活化	接種開始時期によってスケジュールが異なります。 【生後 2 ～ 7 月開始】 ： 初回接種を生後 1 2 月に至るまでに 2 7 日（医師が必要と認めるときは 2 0 日）以上の間隔を置いて 3 回接種。 ： 追加接種を初回接種 3 回目終了後 7 月以上の間隔を置いて 1 回接種。 【生後 2 ～ 1 2 月開始】 初回接種を生後 1 2 月に至るまでに 2 7 日（医師が必要と認めるときは 2 0 日）以上の間隔を置いて 2 回接種。追加接種を初回接種 3 回目終了後 7 月以上の間隔を置いて 1 回接種。 初回接種が生後 1 2 月までに終了せずに生後 1 2 月以降に追加接種をおこなう場合は、初回接種終了後 2 7 日（医師が必要と認めるときは 2 0 日）以上の間隔を置いて 1 回接種します。 【生後 1 2 月以降に開始】 1 回接種。 予防接種法では、生後 2 月から生後 6 0 月に至るまでの間にある者が対象。																														
		小児の肺炎球菌感染症		不活化	接種開始時期によってスケジュールが異なります。 【生後 2 ～ 7 月開始】 ： 初回接種を生後 2 4 月に至るまでに 2 7 日以上の間隔を置いて 3 回接種。（ただし の接種が生後 1 2 月を超えた場合、 の接種は行わない） ： 追加接種を初回接種終了後 6 0 日以上の間隔を置いて生後 1 2 月以降に 1 回接種。 【生後 7 ～ 1 2 月開始】 初回接種を生後 2 4 月に至るまでに 2 7 日以上の間隔を置いて 2 回接種。追加接種を初回接種終了後 6 0 日以上の間隔を置いて生後 1 2 月以降に 1 回接種。 【生後 1 2 ～ 2 4 月開始】 6 0 日以上の間隔を置いて 2 回接種。 【生後 2 4 月以降開始】 1 回接種。 予防接種法では、生後 2 月から生後 6 0 月に至るまでの間にある者が対象。																														
		四種混合（DPT-IPV）1 期 または三種混合（DPT） + 不活化ポリオ（IPV）1 期		不活化	： 1 期初回接種を生後 1 2 月までに間隔を 2 0 日以上（標準的には 5 6 日まで）において 3 回接種。 ： 1 期追加接種は 1 期初回接種終了後 1 2 ～ 1 8 月未満に 1 回接種。 予防接種法では、生後 3 月から生後 9 0 月に至るまでの間にある者が対象。																														
		結核（BCG）		生	： 生後 5 ～ 8 月の間に 1 回接種。予防接種法では、生後 1 歳に至るまでの間にある者が対象。																														
		麻しん風しん混合（MR） または麻しん単独 + 風しん単独		生	： 1 期接種を 1 歳になったらすぐに 1 回接種。予防接種法では、生後 1 2 月から生後 2 4 月に至るまでの間にある者が対象。 ： 2 期接種を小学校入学前の 1 年間に 1 回接種。予防接種法では、5 歳以上 7 歳未満の者であって、小学校就学の始期に達する日の 1 年前の日から当該始期に達する日の前日までの間にある者が対象。 また、麻しん、風しんどちらかに罹ったことが明らかな者については、麻しん、風しんそれぞれ単独のワクチンを使用することも可能。																														
		水痘		生	： 初回接種を生後 1 2 月 ～ 1 5 月までに 1 回接種。 ： 追加接種を から 3 月以上の間隔（標準的には 6 月から 1 2 月まで）を置いて 1 回接種。 予防接種法では、生後 1 2 月から生後 3 6 月に至るまでの間にある者が対象。																														
		日本脳炎		不活化	： 1 期初回接種を 3 歳に間隔を 6 日以上（標準的には 2 8 日まで）において 2 回接種。 ： 1 期追加接種を 4 歳で 1 期初回接種 2 回目終了からおおむね 1 年経過した時期に 1 回接種。 2 期接種を小学校 4 年生時に 1 回接種。予防接種法では、1 期接種は、生後 6 月から生後 9 0 月に至るまでの間にある者、2 期接種は 9 歳以上 1 3 歳未満の者が対象。																														
		二種混合（DT）2 期		トキソイド	： 小学校 6 年生時に 1 回接種。予防接種法では、1 1 歳以上 1 3 歳未満の者が対象。 四種混合及び三種混合の初回免疫に対する追加免疫として接種。																														
		ヒトパピローマウイルス感染症 現在、積極的な勧奨の見合わせをおこなっています		2 価・4 価	不活化	： 中学校 1 年生相当の女子に、 2 価（サーバリックス）は の接種から 1 月の間隔を置いて を接種した後、 の接種から 5 月以上、かつ の接種から 2 月半以上の間隔を置いて を接種。 4 価（ガーダシル）は の接種から 1 月の間隔を置いて を接種した後、 の接種から 3 月以上の間隔を置いて を接種。 予防接種法では、1 2 歳となる日の属する年度の初日から 1 6 歳となる日の属する年度の末日までの間にある者が対象。																													
任意接種	任意接種	ロタウイルス	1 価	生	生後 6 ～ 2 4 週までに 2 回																														
			5 価	生	生後 6 ～ 3 2 週までに 3 回																														
		おたふくかぜ		生	日本小児科学会は、1 歳と小学校入学前 1 年間の 2 回接種を推奨。																														
		A型肝炎		不活化	2 ～ 4 週間隔で 2 回接種し、1 回目から 2 4 週を経過した後に 1 回、合計 3 回接種。WHO は 1 歳以上を推奨。																														

定期接種の標準的接種期間 定期接種の接種可能期間 任意接種の接種可能期間